

# AR-96 ファームウェア・バージョン 2.0

本ガイドは、AR-96 ファームウェア・バージョン 2.0 でより使いやすくなったユーザーインターフェースや、新機能の概略をまとめたものです。

## オーバービュー

今回のファームウェア V2.0 では、AR-96 の次のような操作性の向上を目的に設計しました：

- (a) LCD 画面のユーザーインターフェース改良
- (b) 3 つのノブとカーソルボタンによるパラメータへのアクセス性向上
- (c) ベースステーション、リングコントローラー双方に新機能を追加

## ユーザーインターフェースの向上

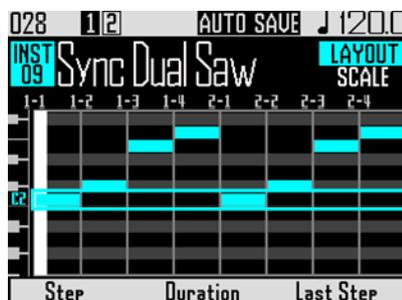
LCD に表示されるグラフィックや楽器アイコンの見直しと、それぞれの表示サイズを画面サイズによりフィットするように変更しました。その結果、演奏時やレコーディング時での操作性がより柔軟になりました。

## 各動作モード(4 種類)の変更内容

### 1. STEP モード

- ・各パターンのシーケンス表示を、SELECT ノブの操作でピアノロールまたはドラムマップに切り替えることができます。
- ・シーケンス内の各ノートのステップやデュレーションを、ノブによるリアルタイム操作で簡単に設定可能になりました。

ピアノロール



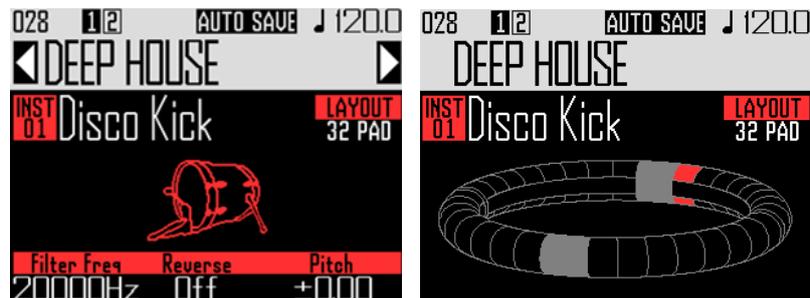
ドラムマップ



## 2. INST(インストゥルメント)モード

- ・リングコントローラーの各パッドのタップ時に、LCD に表示される楽器アイコンと楽器名の表示サイズをより大きくしました。
- ・SELECT ノブ操作によるサウンド選択時に、選択したサウンドのリングコントローラー上のインストゥルメントパッドの位置が LCD にも表示され、より使いやすくなりました。

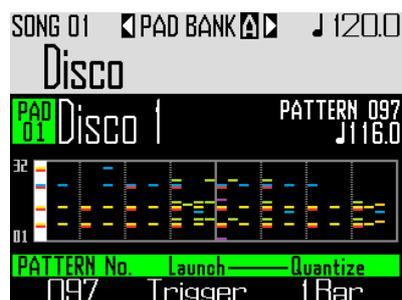
### インストゥルメント画面



## 3. SONG モード

- ・ソングで使用しているパターン/キット名とそのメモリーロケーション(番号)が LCD に表示されるようになりました。
- ・ソング再生時に、リングコントローラーでのリアルタイム演奏が可能になりました。

### ソング画面



## 4. ルーパー

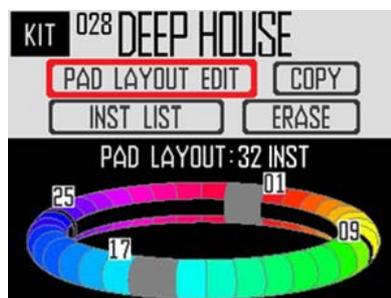
- ・キャプチャーした WAV ファイルを、メモリー内を手動でスクロールすることにより各パッドに割り当てることができるようになりました。

## 設定やエディット関連の改良

### KIT(音色セット)

- ・ 使用可能キット数が 384 種類に増加しました。
- ・ 各パターンはそれぞれ専用のキットを割り当てることができ、複数のパターン間でキットを共有する必要はなくなりました。
- ・ パッドレイアウトのエディットやインストゥルメントリスト表示を改良しました。

パッドレイアウト



インストゥルメントリスト



### EDIT(音色の編集)

- ・ 音色パラメータの各グラフィックを見直し、SELECT ノブ操作によるパラメータ選択がより分かりやすくなりました。
- ・ LFO × 2、エンベロープ × 1、アフタータッチでモジュレーション可能なブロック(オシレーターやフィルターなど)が 6 種類に増加しました。

サウンドエディット画面



## ミキサー

- ・リングコントローラーのパッドでのミュート、ソロ、グループミックスをするインストゥルメント選択がより簡単になりました。



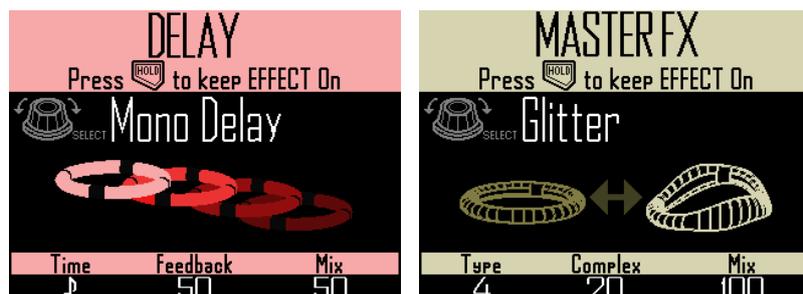
## キャプチャー

- ・キャプチャーした音やフレーズなどの波形表示を向上させました。
- ・波形表示の上に、サンプルの拡大も可能な時間軸も表示されます。
- ・キャプチャーしたオーディオファイルのインストゥルメントパッドやルーパーへの割り当てがより簡単に素早く行えるようになりました。



## エフェクト

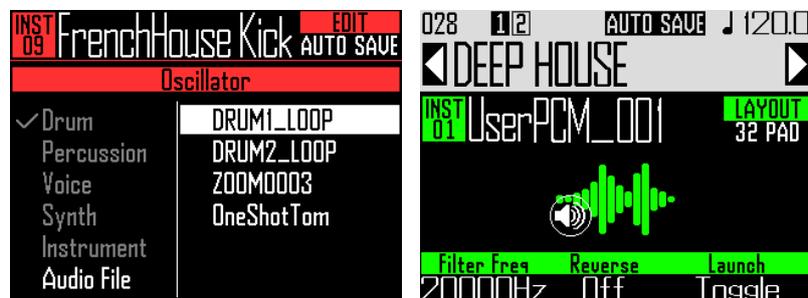
- ・各エフェクトのアイコンやグラフィックを新しくしました。
- ・エフェクトタイプやパラメータのリアルタイムコントロールへのアクセスがより簡単になりました。



## 新機能

### オリジナル音源の追加

- ・ キャプチャーしたサウンドを追加音源として使用でき、フィルターや ADSR エンベロープ、LFO で音色エディットをすることができます。
- ・ SD カードから WAV ファイルを読み込むことができ、内蔵オシレーター音源として使用できます。
- ・ 16/24 ビット、44.1kHz モノ/ステレオサンプリングに対応しました。



### 音色パラメータの割り当てとコントロール

- ・ 各サウンドとも EDIT ボタンと画面スクロールの操作で簡単に全パラメータのエディットが視覚的に行えるようになりました。
- ・ 設定画面で、リアルタイムコントロールに使う音色パラメータ 3 つをロータリーノブに割り当てることができます。



## スケールキーボード

- ・各サウンドとも PAD KEY の選択によりリングコントローラーでクロマティック演奏ができ、その音域(32 鍵分の範囲)が LCD に表示されます。
- ・ベースやメロディパートの演奏やレコーディングがこれまで以上に思いどおりに、効果的に行えるようになりました。



## アルペジエーター

- ・ HOLD ボタンの操作で、アルペジオパターンの切り替えが簡単に行えるようになりました。
- ・アルペジエーターの各ノートやリピートのコントロールをリングコントローラーで行えます。



## パターンの最大小節数

- ・各パターンの最大小節数がこれまでの 2 小節から 8 小節になりました。
- ・同一パターン内で音程のあるフレーズのシーケンス作成が可能になりました。

## 加速度センサー

- ・ リングコントローラーから全音色パラメータ(フィルター周波数やエフェクトなど)にアクセスできるようになりました。
- ・ 加速度センサーでアルペジエーターのノートや周期(スピード)をコントロールできます。
- ・ リングコントローラーを握っている間での加速度センサーのオン/オフが簡単に行えるようになりました。



## オートセーブ

- ・ パターンやソングのエディット中に変更内容を自動的にセーブするかどうかを選択できるようになりました。

## オートグリップモード

- ・ リングコントローラーをベースステーションから取り外すと自動的にグリップモードに入るようになりました。GRIP ボタンを押す必要はありません。

## USB-MIDI

- ・ パッドを押したときに発音する内蔵シーケンスの MIDI ノートデータの出力が可能になりました。
- ・ パッドやノブ、ボタン、リングコントローラーの X/Y モーションなどの操作も、MIDI メッセージとして出力可能になりました。
- ・ 上記の MIDI 出力機能を利用して、AR-96 を DAW などの入力コントローラーとしても使用できます。



## エディターソフトウェア

- ・ Mac/Windows 対応のエディターソフトウェアにより、AR-96 の主要機能のすべてをコントロールすることができます。
- ・ リングコントローラーのパッドレイアウトやピアノロール/ドラムマップ切り替え、キーボードのスケール設定や、全音色パラメータの編集が行えます。

### AR-96 エディターソフトウェア



## AR-96 V1.01 vs V2.0 クイック比較表

	AR-96 1.01	AR-96 2.0
<b>ユーザーインターフェース</b>		
<i>INST</i> モード	テキストベース	SELECT ノブやパッド操作によりインストゥルメントアイコンやパッドポジションなどグラフィカルな表示
(パターン名表示)	小	大: 高視認性
<i>STEP</i> モード	INST モードと同じ	ピアノロール/ドラムマップ表示およびエディット(ファンクションノブ操作)
<i>SONG</i> モード	テキストベースのユーザーインターフェース SONG シーケンス再生中は他の操作が不可能	パターン名、ピアノロール表示が可能に SONG シーケンス再生中もインストゥルメントの演奏が可能
<i>LOOPER</i> モード	WAV ファイルをキャプチャーリストに割り当てる必要あり WAV ファイルの割り当ては 1 種類の設定のみ使用可能(16ビット、44.1kHz のみ)	各パッドに WAV ファイルを簡単に割り当て可能 複数の割り当て設定が使用可能(16/24ビット、44.1kHz モノ/ステレオ対応)
<i>KIT</i>	KIT の選択またはコピーのみ可能	パッドレイアウトの変更や KIT のコピー/消去が可能 INST コピー/消去/スワップ機能
<i>EDIT</i>	テキストベース、小さなアイコンによるユーザーインターフェース モジュレーション(LFO × 2、エンベロープ)可能なブロックが 3 つのみ	音色パラメータのグラフィカル表示の向上、SELECT ノブによる使いやすさの向上 モジュレーション可能ブロックが 6 つに
<i>CAPTURE</i>	WAV ファイルはキャプチャーリストに割り当てる必要あり LOOPER モードでのみ使用可能	波形表示や音色編集、波形ズームなどグラフィカルな表示にキャプチャーした音をインストゥルメント、ルーパーともに瞬時に割り当て可能
<i>MIXER</i>	事前にミキサーグループを設定する必要あり	ミュート、ソロ、グループミックスが自在に
<i>EFFECT</i>	テキストベースのユーザーインターフェース	グラフィカルベースのユーザーインターフェースに変更

	AR-96 1.01	AR-96 2.0
<b>新機能</b>		
オートセーブ	なし	シーケンスのエディット時にオン/オフ選択可能
オートグリップモード	なし	リングコントローラーをベースステーションから取り外すと自動的にグリップモードに
音源	内蔵サウンドのみ	WAV ファイルを内蔵オシレーターの音源として使用できフィルターや ADSR エンベロープ、LFO モジュレーションが可能
音色パラメータ	フィルター周波数、ピッチ、リバーブをメイン LCD 上でのみ編集	メイン LCD に加え、リングコントローラーでのモーションによりコントロール可能
KIT 数	99 複数のパターンで同一キットを共有する必要あり	384 パターンごとに専用のキットを使用可能
スケールキーボード	1 スケールのみ	32 種類のインストゥルメントもスケールレイアウトに切り替え可能
アルペジエーター	なし	スタンダード、ポリフォニック、シーケンシャル
パターンの小節数	2 小節まで	最大 8 小節まで: パターンやシーケンス作成がより簡単に
加速度センサー	フィルター、ディレイ、リバーブのコントロール	各インストゥルメントの音色パラメータ、アルペジエーターのスピード、ノート、フィルター、ディレイ、リバーブのコントロールが可能 加速度センサーのオン/オフもリングコントローラー上で可能
USB-MIDI	MIDI クロックのみ出力可能	内蔵シーケンスの MIDI ノートデータ、パッド、ノブ、ボタン、X/Y モーションも MIDI メッセージとして出力可能 DAW の入力コントローラーとして使用可能
エディターソフトウェア	なし	主要機能のすべてをコントロール可能 Mac/Windows 対応

	AR-96 1.01	AR-96 2.0
<b>V2.0 で削除された機能／設定</b>		
	パターンレベル(SONG モード)	削除
	オーディオ入力レベル (MIXER メニュー)	削除
	インサートエフェクト “Before/After”	“Before”に設定
	“Stepper Edit”(LFO)	削除
	“Ring Parameter Top”	削除